

名 称	小原島の貝化石
場 所	南巨摩郡身延町栗倉
所有区分	民有地
面 積	0.14ha
標 高	500～600m
指定年月	昭和 47 年 10 月 30 日

指定理由

早川橋から西方 400m の早川右岸の県道沿いには、二枚貝や巻貝などの大型化石を豊富に含有する礫質砂岩の露頭がある。

代表的な化石は、タマキガイ、マルスダレガイ、イタヤガイ、フネガイ、ツノガイ、トマヤガイ、オオシラスナガイ、ニシキウズ等である。

この化石は、古地理や古気候を調べる（示相化石）のに役立つほか、地球の歴史を調べる（標準化石）記録時計の役割や、地下資源を調べる目安になったり、生物の進化をたどる上に重要な意義をもっている。



撮影日：平成 26 年 9 月 6 日